

【団体名】かわさきミュージックチャレンジ

事業報告書

<p>事業名</p>	<p>かわさきミュージックチャレンジコンサート ～みんなでチャレンジ～</p>
<p align="center">【計画時の事業内容】</p> <p><u>公演名</u> かわさきミュージックチャレンジコンサート ～みんなでチャレンジ～</p> <p><u>日時</u> 令和2年1月11日(土) 10:00リハーサル 13:30開場 14:00開演 15:30終了予定</p> <p><u>会場</u> 京浜楽器ミュージックシティ百合ヶ丘内ムーザ予定</p> <p><u>内容</u></p> <p>① 演奏の部・・・障がいのある方(子ども～成人)の演奏 5分×6組＝30分程度</p> <p>② 鑑賞の部・・・プロの音楽家の演奏を鑑賞する 10分×3組＝30分程度</p> <p>③ みんなで歌おう・・・参加者全員で合唱10分</p> <p><u>募集方法</u></p> <p>・演奏者</p> <p>① 演奏の部・・・かわさきミュージックチャレンジの会員の演奏を中心とし、足りない場合はホームページ等で募集する。</p> <p>② 鑑賞の部・・・かわさきミュージックチャレンジの会員の演奏を中心とする。</p> <p>・参加者</p> <p>SNS、ホームページやチラシ等で広報活動を行い、参加者を募る。</p>	<p align="center">【実施結果(成果)】</p> <p><u>公演名</u> かわさきミュージックチャレンジコンサート ～みんなでチャレンジ～</p> <p><u>日時</u> 令和2年1月11日(土) 11:30リハーサル準備 12:00リハーサル開始 13:00開場 13:30開演 15:30終了</p> <p><u>会場</u> ラゾーナ川崎プラザソル</p> <p><u>内容</u></p> <p>① 演奏の部・・・障がいのある方(子ども～成人)の演奏 5分×7組＝35分</p> <p>1) ピアノ親子連弾 2)ピアノ友人連弾 3)ボイスパーカッション&ダンス 4)ヴァイオリン×ピアノ 5)ヴァイオリン×ピアノ 6)ピアノ独奏 7)鍵盤ハーモニカ楽団演奏</p> <p>② 鑑賞の部・・・プロの音楽家の演奏を鑑賞 10分×3組＝30分</p> <p>1)ソプラノ独唱 2)アルト独唱 3)ヴァイオリン×ピアノ</p> <p>③ みんなで歌おう・・・参加者全員で合唱・合奏10分 全員で楽器を持ったり、会場内の方々にマラカスを渡して「風になりたい」の演奏を行った。</p> <p><u>参加者内訳</u></p> <p>・出演者 18名 (内訳) かわさきミュージックチャレンジ会員・・・12名 公募・・・4名 プロの音楽家・・・2名</p> <p>・入場者 62名</p> <p>・ボランティア 7名</p> <p>合計89名</p>

<p align="center">【計画時の事業目的(取組課題)と実施効果】</p> <p><u>事業目的(取組課題)</u></p> <p>昨今、社会生活における様々な場面でのノーマライゼーションが叫ばれており、行政レベルや市民レベルで少しずつ浸透しているように感じられる。</p> <p>しかし、障がいのある子どもを音楽に触れさせたく音楽界に聴きに行きたいが、子どもが声を出したり、立ったりしてしまい、な</p>	<p align="center">【実際の効果と課題】</p> <p><u>実施効果について</u></p> <p>1. 演奏者アンケートより「養護学校を卒業後はこのような発表の場がなく、どこかないだろうかと探す日々でした。本当に楽しみや世界が広がりありがたいです。」「このかわさきミュージックチャレンジに参加したご縁で、世界自閉症デーの演奏に参加することになりました。本人の大きな励みになり、私たち</p>
--	--

かなか聴きに行くことができないという現状がある。
また、障がいのある子どもや大人が大きな会場で発表する機会は一般に比べて大きく限られている。
そこで出演者と観客が、障がいの特性を理解し共に楽しめる音楽会の創出を目指して、「かわさきミュージックチャレンジ」を立ち上げ活動を行っており、今回が第3回目となる。

実施効果

1. 障がいのある方が、ステージで多くの人前で演奏することにより、日々の生活に活気を与え、自信につながる。
2. 障がいのある方の演奏を聴くことで、理解を深めることができる。
3. 障がいのある方や家族が、周囲を気にすることなくプロの演奏を聴くことができ豊かな生活につながる。

障がいの有無に関わらず、共に音楽を楽しむ一体感を味わい、ノーマライゼーションへの理解が深まる。

家族も喜んで楽しみにしています。本当に感謝しております。」という声をいただき、達成することができた。

2. 障がいのある方の演奏を多くの方が聴きにきてくださった。障がいがあっても音楽を楽しみ、練習に励み、一生懸命に演奏する姿に、多くの感動を与え、理解を深めることができた。また川崎市内の公立学校教員(支援学校5名、中学校2名、小学校2名)が参加したことは、障がいのある方の卒業後の余暇の過ごし方や教育に対する考え方の大きな示唆になったと自負している。そのことはアンケートからもうかがえる。

3. プロの演奏を聴く際に、声が出たり音を出したりしても、それまでの時間に醸成された温かい雰囲気により、心を解放して音楽を聴き楽しむことができた。

4. 障害の有無に関わらず、会場の皆が音楽を共に楽しむことができた。また「皆で歌おう」の「風になりたい」の演奏では、会場が一体となり盛り上がり演奏を楽しみ、一体感を全員が味わうことができた。

アンケート結果

入場者62名中回答29名(46.7%)

■男性11名 女性18名

■年齢 10代2名 20代6名 30代6名 40代3名 50代7名 60代5名

■開催を知った理由 知人の紹介26名 その他3名

■満足度 とても満足29名

満足度の理由(文章表記)

- ・会場全体が温かい雰囲気です。居心地が良かったです。
- ・とても優しい気持ちになりました。素敵な時間をありがとうございました。
- ・とても感動する演奏で、ウルウルしてしまいました。私自身元気をもらいました。
- ・音楽愛がいっぱいで、ステージ上で皆さんが輝いていました！
- 内容の充実もさることながら一途な姿や楽しそうな姿に感動しました。
- ・本当に一人ひとりが生き、生かされて輝いていました。本当に素晴らしかったです。
- ・音楽を通じて人間の豊かさとあたたかさを感じました。
- ・演奏後の「頑張りました」と達成感に満ちた表情が一番でした。

■ご意見、ご感想

- ・これからも続けて欲しい(多数)
- ・このようなコンサートが広く伝わり大きな輪になってほしいです。
- ・様々な可能性がありますね。次回を期待しています。
- ・生で楽器の音色を聴く機会がほとんどないので、今日は楽

しく聴かせていただきました。ありがとうございました。

- ・素晴らしいコンサートでした。参加者が増えると良いですね。
- ・多くの人に伝えて、このコンサートがもっと広まっていくことを願っています。
- ・最初の挨拶の音楽はうまい下手ではない、の言葉通りの会でした。これからもっと社会にこういう考えが浸透していくことが期待されます。ありがとうございました。

課題及び今後の課題

- ・音楽活動が盛んな川崎市において、安価な会場を確保することが大変難しいことが大きな課題である。
- ・新しくできた団体のためPRの仕方を知らず、もっと事前に周知活動を行うべきだった。今後は多くの方に周知できるように広報活動を検討していく。
- ・この活動を持続していくために、かわさきミュージックチャレンジ団体としての体制づくりと基盤強化が必要であり、そのための人材確保、資金面についてさらに検討していくことが課題である。